



外国出張報告書

平成27年4月16日

1. 出張国名 ラオス
 フィリピン
2. 出張月 平成27年2月～3月
3. 出張目的 乾季における水路搬送効率算出のための観測等：C
 サトウキビ畑試験圃場における生育調査等：A

4. 成果の概要

ラオス・ナムアン村において乾季における水路搬送効率の算出を目的に、水路の一定区間において上下流間の流量を観測した。ため池管理者および村長に対し、ため池建設時の村内における合意形成や建設後の問題について聞き取り調査を実施した。既存ため池の効果的利用とそれに向けた効率的貯水のための水利施設について検討した。村に設置している水文観測機器のデータを回収し、ため池の水位変動について解析を行った。ラオス北部6農村を視察し、その特徴と山の利用形態の違いが土壌侵食に及ぼす影響について検討を行った。

フィリピン・ネグロス島北部のサトウキビ試験圃場において、土壌水分の観測に用いているプロファイル式土壌水分センサーの校正のための試験を実施した。試験方法は、4地点の土壌を、飽和、湿潤、乾燥の4段階に調整し、センサーでの観測と同時に100ccの採土円筒を用いて、不攪乱土壌を採土した。また、サトウキビの生育調査を実施し、施肥の違いが生育に与える影響を調査した。加えて、他地域のサトウキビ畑や傾斜地畑での土壌流亡の状況を把握するため、ギマラス島、パナイ島を視察した。